

## 第六期 第一回 np.広告学校 講義録

### 【講義の進め方+生徒の心のモヤモヤ解消】

#### ◆日時

2013年5月13日

#### ◆出席者

で?、未満、滑舌、コゲ太、食い丸、おにぎり、ピロリ

ネチ・ネチ郎、小学生、安倍さん、世界の野糞、垢プリ、センター、シカシカ、ホヘー、 生徒15名

(女性7名男性8名)

+小霜、米村、坂根、塩見 (np.)

小霜：あらゆることに対して疑問を持ち、自分の中で仮説をもって日々を過ごす事がクリエイティブの基礎体力となる。

今回はそれぞれが疑問に思っていること、人に言えない恥ずかしい質問を出して皆で考える。一ついさっき、スタッフが出前にイタリアンを取ったことに対して、「あまりにもアイデアがないと説教した。アイデア次第では、「こんなものが出前であるんだ!?!」「これ出前でやってビジネスになるの!?!」「昨日の出前よかったよ」と話がふくらんでいく。ここから世の中が見えてくることもある。ただ腹が膨らめばいい、という考えでは、クリエイティブをする者としてはどうかな——クリエイティブをするからには、どんなことに対しても自分の仮説を持つ。たとえば(ジムで買ったミネラルウォーターを取り出して)ジムの中で出すだけだから、こんなにやる気のないデザインでもいけんのかな。あらゆることに対してなんでこうなんだろう、という疑問を持って、自分なりに仮説を持って、日々を過ごす。これが基礎体力になる。野球選手で言うランニングのようなもの。クリエイティブの基礎体力や姿勢を身につけながら、広告表現とはどういうものか、というヒントを教えたり、生み出したり、ということをやっていきます。今日は初回なので、仮説を一回持ってみることを手始めにやりましょう。

(生徒の簡単な自己紹介を挟んで)

小霜：毎回人選の際に、多様性を大事にしている。男女の比率、年齢の比率。職業で言うと、代理店の人、代理店でない人、無職の人、が、まんべんなくいるようにしている。その方が刺激になるし、吸収

できる。同じ属性の人ばかりだと、考えが固ってしまうおそれがある。ただ、同じ会社が二人、同じ大学が四人いますが、これはたまたまです。週1で講義を聞くだけでなく、なるべく同期同士で遊びに行ったり、期を越えて集まったりを、自発的にして、刺激し合う仲間をつくって何かを学びとって行ってください。

#### <小学生の疑問> 人前でスマホを使う人なぜこんなに多いの？

**小学生**：人と一緒にいる時にスマホを使いすぎじゃないかな。ケータイだったら人前で使うのはマナー違反だったりしたんですけど、スマホができてからは、ご飯一緒に食べてる時とか、電車を一緒に乗ってる時とか、いきなりスマホでTwitterやゲームやったり。「ちょっとつぶやくね」とひと言添えてつぶやくのはわかるんですけど、何も言わずにやられると「俺とあんまり喋りたくないのか」と思う。スマホを人前で使うのはマナー違反なのかどうか。

**安倍さん**：僕は今日もそれを思ったんですけど、自分が嫌だから、自分は絶対に触らない。

ケータイの時代とスマホの時代で確かに感覚が変わった。スマホってコミュニケーションだけじゃなくて、音楽や映像も観れるから、イラつかないのかな？とっていたが、最近是人前でTwitterとかやって、なんでだろう、と思いますね。

**世界の野糞**：スマホを使うのは、マナー違反だってこと？

**小学生**：いや、人前で当然かのように使われるのがどうなのかな。

**世界の野糞**：人前でスマホを使われるとイラっとくるのは漫画とかと違い、何をしているかわからないからじゃないかな？

たとえば、ラーメン屋でスマホをみるのを嫌がる大将がいる。それって漫画や本を読むならいいんだけど、スマホだと嫌がる。それはなんでだろう、と思ったことがある。

人前で、スマホとスマホ以外の何かがあるとして、スマホだとイラッとするのは、そこで何をしているのかわからないからな気がする。

たとえば電話なら用件があって電話してるとわかる。スマホだと、退屈してやってるのか仕事のメール見てるのか、わからないところがポイントなのかな。

**小学生**：逆に何してるかわかるようなスマホにしたら、どうなのかな。色によって違うとか。

**センター**：スマホを使う前にメールするね、電話するね、とか言ってくれたら、気分的にも違う。

小学生：そうですね。だいが気を遣ってくれてる。気持ちいい。

安倍さん：使われるときも、手に持って隠されてる時と、置いて使う時と、印象が違う。

小学生：置いて使った方がいい？

安倍さん：なんとなく画面が見える方がいい。

垢プリ：今はスマホとガラケーの比較？

小学生：比較って程でもないんですが、ガラケーからスマホに変わって、そういう行為が増えたな、という印象がある。

ピロリ：まだガラケー使ってます。もしかしたら人数によるかもしれない。二人で飲みながら話をしてて、ちょっと途切れた時に、後輩がスマホを見始めたら、「ちょっとなあ！」と叱る。けど三人以上で飲んでたりすると、誰かがスマホを触っても、あんまり気にならない。

垢プリ：スマホを使うのは目の前の人よりスマホでつながっている多数の人間の方が大切だからかな。  
ガラケーより、スマホはそこからつながってる人の数が多い。  
極端な話、目の前にいる人より、ネットでつながっている数十人の方が大事だからそっちを見るのかもしれない。

で？：電車の中で違和感なのは、子連れの両親が二人ともスマホをいじって、子どもを見てないとか、目の前の空間じゃなく、画面の向こう側を大事にしてるのかな。

小学生：スマホをいじることで素の自分をだし相手に信頼感を与えているという仮説。  
それに関連して、最近読んだ本で、最近若い子が先生の前で、ケータイやスマホをいじったりするらしい。現実を第一世界、ネットを第二世界として、それぞれの世界のレイヤーを行き来してることを他人に見せることが、素の自分を出しているのだから、相手に信頼感を与えるのではないかと、という仮説を岡田斗司夫さんが言っていて、ピンと来ないけど、おもしろい。もしかしたら相手に対して、自然の姿を見せることで、安心させてるのかな。

おにぎり：あんまりピンと来ないです。

垢ブリ：マナー意識が下がってる。例えば、今はファストフードで一人で食事を済ます機会も増えているし、家族でご飯を食べることでマナーを学ぶ機会が減っている。マナーの低下によって、こういうことになったのでは。でも、大学生でもやるし、社会人でもやるぐらい。

未満：相手との話を広げるためにスマホを使って情報を収集しているのかな。

なんとなくマナー違反とわかってはいるが、相手と何を喋ろうか悩んで、喋らない空間・時間が嫌で、その時間をごまかすために、あえて見てるところもあるのかな。ガラケーは、メール・通話のみだったが、スマホになると、いろいろ情報が見れたり、意外と話が広がることもある。

ネチ・ネチ郎：スマホは体の一部という感じがデジタルネイティブの人たちにあるので、自然なことで失礼にあたらないという意識があるのでは。

僕はメーカー出身なので思っていることですが、スマホって体の延長って感じ。前発表された Google Glass の手前がスマホ。自分の手や脳を使うように、スマホを使ってしまうのが、今のフェーズなのかな。だから失礼というより、自然なんじゃないか。デジタルネイティブの若い皆さんは、どうなのかな。おそらくスマホを使うことは自然なことで、失礼には当たらない、と考えているんじゃないか。

小霜：一番最初に「ガラケーの時よりスマホになってから、増えた」と言っていたが、それはどうして？

小学生：出来ることが増えたから。メールだけでなく、SNS の返信等、やらなきゃいけないことが増えた。ゲームとかの娯楽が増えたので、ケータイは限られた「やること」しかなかったものが、増えたからかな。

小霜：つまり君の仮説は、スマホの方がやることが多いから、人と会ってる時も、その隙をぬって、やらざるをえないのだ、ということ？

おにぎり：スマホになり受けるものが増えたからかな？

受けるものが増えて、スマホを開く機会が増えた。ガラケーはメールと電話ぐらいしかなくて、ネットに自ら接続しないと、通知が来なかった。それもあるのかな。

ホヘー：受けるものが増えたからなのではなく、発信するものが増えたからではないか？皆自己主張したいのでは？

僕は仮説が違ふんです。すごい受け手になってるから、というより、発信しやすくなったから。みんな自己主張したい。「私誰々ここにいます」がしたいから Twitter つぶやいたり、「こういうご飯食べてます」がしたいから写真撮って Facebook にあげて「どや！」。やらなきゃいけない、というより、やりたい。自分を発信したくなる。それがスマホに変わって簡単になったのが大きいのではないかと。自己主張したいという欲求に駆られている。「他の人はどんな自己主張してるんだろう」とチェックして、それに被せて「俺はこう思う」というのも気軽にできるようになった。それが、マナー違反とわかりつつ、気軽にスマホを出してしまう原因なのでは。

小霜：「気持ちいいから」

僕の仮説は、「気持ちいい」から。ガラケーとスマホでは、気持ちよさが全然違う。iPhone の「ぬるっ」って感覚とか、快感を得られるインターフェイスを設計している。音も同様。音と操作感覚が、人間の生理にあうように作られている。だから iPhone がヒットしたのではないかと。僕もついやってしまう。会議中に意味なくやってしまうのは、タバコの感覚に近い。昔はタバコ吸って、手を動かすことでイライラを鎮めていた。タバコがスマホに変わっている気がする。これをいじっていると落ち着くとか。それだけが理由ではないが、確かにガラケーの時はあまりいじらなかった。ガラケーをいちいち開くのは作業で、目的がないとやらない。スマホは無目的でやってしまう違いがある。これは Apple の術中にハマってしまってるのかな。

米村：「常時接続」

今朝の情報番組で、若い人に「連絡先の交換に、何を交換しますか」と聞くと、電話番号でなく、7割は LINE だった。ガラケーならメールチェックで済むが、LINE はつながりっぱなし。常時接続ってことが、あるんじゃないかな。40代50代は、今でも番号、メールアドレス半分。学生は7割がLINEを交換していて、状況がかなり変化している。ガラケーにはLINEのアプリは存在しなかった。

<未満の疑問> ダメメンズに惹かれるのはどうして？

未満：自分の身近な話で、20代後半女子ということで、同世代と喋ると恋愛の話になることが多い。その中で「なんで女の人って、ちょっといい人よりちょっとダメな人に惹かれるんだろう？」。たぶん、本能としては、いい種、いい子孫を残したいと思うので、経営者・成功者に惹かれると思うんですが、ちょっとダメな人にも惹かれてしまう。「めっちゃくちゃいい人」か、「ちょっとダメな人」か。「ちょっといい人」じゃないんだ。ということが不思議。なんで女性が「ちょっとダメな人」に惹かれてしまうのか？

ホヘー：「ちょっとダメ」ってどういうこと？

未満：めちゃくちゃダメな男性は、女性に DV する人。これはダメ。「ちょっとダメ」は「ちょっと束縛」  
「みんなの前では冷たいのに、二人っきりになったらデレデレする」。

シカシカ：それ、よくないですか？

ホヘー：むしろいい。

未満：ちょっとかわいいぐらいの、ダメ加減。

ホヘー：構ってあげたくなる、ダメさですか？それとも「人間としてダメだろ」ぐらいですか？

未満：そこまではいかない。

ホヘー：トイレ行って、その人の次に行ったら、うんこ流してなかったり。それはダメには入らない？

未満：入るかな…

ホヘー：入る！

米村：昔、松本ちえこの歌で——♪100点とるひと嫌い、65点のひとが好き——なかなかよく出来た歌詞で、今言ってることと被る…ちょっと調べてくるわ。

未満：私がいないとダメと思うからかな。

「私がいないとダメなんだろうな」って思って惹かれる。「私がいなくてもいい人」じゃなくて、ちょっと手を貸してあげたらいい。

小学生：ご自身の経験としては？ダメズを捕まえたことがあるんですか？

未満：そういう話になっただけなんですけど。周りの女性の話では、「キレイでデキル女の人なのに、付き合ってる男性と釣り合っていない」ということをよく聞く。

センター：「自分がいなきゃダメ」っていうのは認められたい欲なのかな、と思いました。

未満：そうですね。自分が必要とされてるのを感じたい。

小学生：母性本能をくすぐられるから？

もっといい男を捕まえられるという話は、恋愛をステータスや地位としてみている。オシャレで化粧もして女らしい、というステータスを持ってるから、それに見合う男を捕まえたいという経済的な側面。もうひとつ、ダメズを捕まえるのは、母性本能をくすぐる、本能的な部分が働いてしまうからかな。

未満：自分が優位に立ちたい？

母性本能はあるのかな。ちっちゃい子をあやす感じでもないけど、それはすごくわかる。先程の「自分は必要とされたい」なんですけど、女性って社会的地位が低い、と感じる部分が多少なりともある。そこで、ちょっと下の男性と付き合うと、自分が優位に立てて、なんとなく嬉しい。

おにぎり：女子大に通ってて、友達と同じような話をしてました。「かわいい子って、なんでかっこよくない人と付き合ってる人が多いんだろう？」。かわいい人って、あんまりコンプレックスがないから、男の人に求めるものに、気を遣わないのかな。「かっこよくない男の人の方が、かわいいアイドルを求める」という話がよくある。自分にコンプレックスがある人の方が、相手に上のものを求めてしまう傾向があるからじゃないかな。性格もそうで、完璧な人って、相手に「ここがよくなきゃダメ」というのを求めないのかな。

未満：あ、そうかも。

ホヘー：ちょっとダメな男を求める人は、いい女ってことですか？

未満：…そうとも言えない。いろんな側面がある。

滑舌：少しダメな人の方が気が楽だからなのでは？

単純に一緒にいて楽だから、と思います。友達に完璧主義者でナルシストがいるんですが、そういう人が、ハマしたときに、どう対処したらいいかわからない。それを笑ったら向こうはキレてしまうし、難しい。それに比べて、自分のダメさを認める人は、人が笑ったら、それをさらに笑いに変える度量を持ち合わせてる人が多いな、という経験があります。

未満：自分より、ちょっと下・ちょっとしっかりしてない人の方が、安心できるんですか？完璧でいなきゃいけない、って気持ちがなくなるから。

滑舌：それはあると思います。

シカシカ：付き合うのを意識してるのか、結婚を意識してるのかで変わるのかな。年代によって変わったとかありますか？10代の時って、中高はカッコいい人とかわいい人が付き合ってたイメージあって、大学の時違った。今と昔で変わりましたか？昔から「ちょっとダメな人」に惹かれますか？

未満：周りを見ると、年を経るほど、いろんな人を見て、経験も重なり、完璧を求める。理想では引張ってくれる人がいい、というのはわかっているが、ダラしない人を見ると、自分が引張ってかなきゃと思う。矛盾してるし、まだ折合いのついてない部分。成長したから母性本能でそうなるのかもしれないけど、私の中では答えは出てない。周りの話を聞いても、そんな感じ。結局のところ、「ちょっとダメ」に惹かれるのは変わってないのかな、と思います。

小霜：何かされる側より何かする側の方が相手に好意を持つ。

男性が女性にモノをあげたとする。この場合、どっちがどっちに好意を持つか？男性なんだよ。あげる方が好意を持つ。人間心理として、何かされる側よりする側の方が、好意を持つ。ホストにハマる心理もそうで、貢げば貢ぐほどハマっていく。ヒモも、キャバクラもそう。出来の悪い子がかわいい、というのは、手間がかかる子どもほど愛情が沸いてくる、ということ。オフレコだけど…飲みに行くでしょ？女の子を落とそうとしたときに、手口として、頼み事をする。たとえば女の子が「広島の実家に帰るんだ」と言ったら「じゃあ〇〇屋の紅葉まんじゅう買ってきてよ」。そして探して買ってくるともうこっちに好意を抱いてる。

ホヘー：マジック。

小霜：人間って、複雑な心理が入り組んで出来ている。こういう本能があるからこうだ！とスパッとと言える訳ではないけど、そういう側面もある。ダメな人を見ると、自分が何か出来る余地がある。自分の居場所がある。完璧な人に対しては、自分が何かをしてあげる余地がない。そうすると好意を抱きにくいことがある。一方、本能的に優秀な遺伝子が欲しいから、優秀な異性と結婚したい、子どもを作りたい。双方が入り組んでいて、どっちが出てくるかによって、変わってくる。



未満：その時々で違う、と。

米村：こういう話って、「女の子って」という言い方をよくするけど、みんな一緒じゃないでしょ。「かなりダメな人はダメだけど」と言うけど、この人（坂根）はかなりダメな人が好き。

坂根：なんでそんなことバラされるの。。間違いなくダメンズ好きですが。私の場合は、完全にそこに自分の居場所を求めている。私がいることでなんとかなってるなら、そこで満足する。私が np.にいるのも、小霜がかなりダメンズなので私がいなきゃダメでしょ！って。

米村：先程の歌詞ですが、まったく趣旨が違ってた。（松本ちえこ『恋人試験』の歌詞を朗読）

小霜：きっちり朗読しないでよ。

<世界の野糞の疑問> LINE だと距離が近くコミュニケーションをとれるのはなぜ？

世界の野糞：なぜ LINE だと、相手との距離を縮められるか？職場の先輩と LINE してると「二重人格だね」と言われる。普段まじめで誠実と思われてるのに、LINE だとタメ語で高圧的に言うから。でもそうやって使うと、相手と距離を縮められるから、先輩と仲良くなるツールとして活用している。Facebook やメール、電話ではそんなこと絶対出来ないのに、なぜ LINE だとできるのか？

垢ブリ：チャット感覚なのでは？

世界の野糞：Facebook でもチャットできるじゃん。

安倍さん：キャラクター（スタンプ）を通して、自分を多重人格化するのは？

世界の野糞：確かに、テキストとスタンプの混合で使う。なんでスタンプを使うと強いこと言えちゃうのかな？

シカシカ：スタンプで強いこと言うんですか？かわいいの多いのに。

世界の野糞：かわ怖いやつで。

シカシカ：「ヒュ～」っていう音もいいかな、と思ってる。

安倍さん：「強く言える」というのは、言葉が強くなるのか、絵を含めて絵が強くなるのか？

世界の野糞：言葉が強くなって、結構言いたいことを言えちゃう。

垢プリ：スタンプでごまかせるからでは？

待ち合わせに遅れて「ごめんなさい」にふざけたスタンプを加えて、和らげる。やってることは同じなのに言いやすい。スタンプがかわいい分、ごまかしやすい。

未満：先輩は年の近い方ですか？

世界の野糞：そこは関係なくて、50代のおじさんに「仕事しろ！」とかやっちゃう。

未満：LINE ってコミュニケーションが密なのかな。メール・手紙なら、仲良くない人とのコミュニケーションに使って、LINE はもっと近い人とするもの。だから年の近い先輩だと思った。

ホヘー：吹き出しのアイコンが気軽な感じのノリがあるからかな。

仲良くなれるとは思わない。メールは開いて、文章を読むスペースがあって、読む。一方 LINE は吹き出しがついて、送信者のアイコンがあって、「気軽に喋りました」というノリがあるから、タメ口でもいけるのかな。でも僕は、後輩からそれをやられたら、「なんやねんコイツ」と思ってしまうタイプ。でも、吹き出しの力は大きい。

世界の野糞：確かにメールよりも、するっといけるから、ごまかしが利くような速度感で次々言葉を送れる。

ホヘー：すぐ送信できる感じがあるのはデザインに関係あるのでは？

メール世代に比べて、LINE 世代の方が、Twitter で未成年が飲酒暴露をして、炎上する人が多い気がする。LINE は考える時間なく送れるから。メールなら、書いて、保存して、読み返して、送信する。だから Tweet する時も、一旦寝かせる癖がある。LINE 世代の高校生などは、「ぬるっ」とすぐ送ってしまう。「ぬるっ」と送れる LINE のデザインが関係あると思う。

垢プリ：密なコミュニケーションがとれるという前提で、LINE で連絡を取り合うのは、それだけ近い仲になっていると思う。だから、受講生内で LINE をつくりましょう、という意見に違和感があった。

まだ会ってもいないのに LINE は近すぎないか、と感じた。

**で？**：LINE は書式が決まっていないからすぐ修正できてラクなのは。

なぜ LINE が簡単か、というのは、「前フリ」がないから。メールは書式が確立してるから、失礼なことを言ってしまった、と後悔してしまう。LINE はあとから送って修正が利く。Twitter で飲酒暴露したとしても、どこかで取り返しがつく感覚があるのかもしれない。

**コゲ太**：思った事をすぐ送れるから距離がちかくなるのでは。

同意見。LINE で間違えて送っても、スタンプを二個送れば画面が変わる。いちいち件名を考えずに、思ったことをすぐに送れる点で、距離が近くなるのでは。

**滑舌**：LINE とメールでは、明らかにやり取りの回数が違う。「元気？」「うん」という会話が連鎖して、相手と対面で喋っている感覚になる。メールだと、用件がないと送っちゃダメかな、と迷ってしまう。

**ネチ・ネチ郎**：記録するものとしらないものの差ではないか。

記録するかしないか。メールは記録するもので、LINE は記録しないものだから、「悪いこと言っても記録されないんだ」と思っちゃう。

**世界の野糞**：でも履歴は残る。

**ネチ・ネチ郎**：だからそういう履歴を消すサービスをつくったら、ウケるかな。

**ホヘー**：Facebook の Poke (「つつく」の意) という挨拶する機能がバージョンアップして、3 秒とか 5 秒に設定すると、相手はその秒間しか読めないメッセージが送れる。これが流行りつつある。

**ピロリ**：スタンプという第三者に話させる感覚か。

50 代の先輩にタメ口で送ってしまう時、自分ではない第三者としてスタンプがあるので、そいつに言わせてしまうのかな。

**世界の野糞**：そこは自分で言ってるつもり。

**垢ブリ**：ひと言の重みが違うんじゃないか。

世界の野糞：カウンセリング受けてるみたいな感じだな…

米村：メディアによってリズムや言葉つきがちがう。同じ人が発する言葉から、同じ人格が相手に伝わるわけではない。

英語を話せる人は、日本語話す時と、英語話す時で、違う人格になる。英語は論理的ではっきりしていて、きつい。日本語はやんわり。同じ人が発する言葉から、同じ人格が相手に伝わりとは限らない。メール、LINEにしても、メディアごとのリズム・言葉つきが違う。「了解。」と「了解！」では伝わり方が違う。小霜って、メールの人格はめちゃくちゃ怖いけど、会って話すと文面以上の含みはない。言ったそれ以上以下でもない。会話をするとその真意が伝わる。どのメディア（回路）を通して伝わるかで、個性の伝わり方も変わる。長い間なまの付き合いを続けてきた奥さんと、メールのやり取りをすると、今まで空気のように感じていた奥さんが、顕在化してくる。メールの文面だけ見ると素敵な人に見える、「メール美人」もいる。LINE とメールの違い以前に、メディアによって違うのだと思う。

小霜：メディアごとのルールを無意識に感じとって自動的に人格を変換してしまうのでは。

メディアが人格を規定する。たとえば2ちゃんねるは、同じ奴が書き込んでるように見える程、人格が一緒。Twitter は 140 字制限があるから、簡潔に言う。ぶっきらぼうでもいい。メールは「お世話になります」をつけなきゃいけない。女房のメールはなぜか敬語なんだよ。「今日は何時に戻られますか」。メールはそういうものだと思ってるのかもしれない。僕も本を書く時の人格、メールを書く時の人格、Twitter の人格は、微妙に違う。ぜんぶ統一は難しい。発信する時にメディアの選択肢がある時代では、メディアごとのルールがあって、それに即した人格を要求される。それを無意識で感じ取って、自動的に人格を変換してしまうのではないか。

米村：ちなみにメールの正しい書き方では「お世話になります」はいらない。

小霜：「お世話になりありがとうございます」がルールになっている会社もある。

米村：国内でどれだけの「お世話になります」が消費されてることか。

小霜：僕は知った間柄に出す時は、ぜんぶ省いて出したりする。

米村：これもうやめましょう！と決めてしまえば、だいぶ内容が省略できるかも。

小霜：そもそもお世話になってなかったりするし。

米村：英語にないよね。“Thank you for your ~”かな。そんなこと書かない。“Hi! Kazuya”だけで親しい気持ちが伝わる。

小霜：Nozbe のお知らせメールは“Hi! Koshimo”って言って来てちょっと変。

<滑舌の疑問> 日本人はベストセラー好きなのはどうして？

滑舌：村上春樹は『1Q84』が出て注目度があがったように感じる。メディアがベストセラーになったと過剰に取り上げるから、みんなが注目するようになったと思う。たとえば外国人はミシュランを見なかったりする。そこから、なぜ日本人はベストセラーやミシュランに群がるのか？

ホヘー：損したくない精神から。

損したくないから。千円払って本買ったときに、評価が高ければ、損せずに済む可能性が高い。僕も買うときに、Amazon でチェックして評価が低ければ、損しそうな気がして先送りしてしまう。評価が高ければ安心して千円出せる。損したくない精神なのかな。

シカシカ：みんな「4」を押してるから、「4」押ししたくなることもあるかもしれない。実際どう思ってるか。年末のテレビ番組で、浜ちゃんと、有名料理人と、舌の肥えた人とで、食べ比べをしても、全然当てられない。正解が発表されてから「やっぱこっちか」と流れる。結局ブランドを気にしがち。

世界の野糞：自信がないから。

自信がないから人の評価に頼るのだと思います。僕自身もそう。音楽でもヒットチャートを聴く。

滑舌：ビートたけしが、日本人を揶揄した「赤信号、みんなで渡れば怖くない」が言い得て妙だと思う。その国民性はどこからくるんだろう？と腑に落ちなくて、それもこの疑問に至ったきっかけです。

ピロリ：みんなと一緒にだと安心。

みんなと一緒にだから安心、というのがベーシックな部分ですよ。話題になってるものを自分だけ読んでなかったら、恥ずかしいと感じる。

ホヘー：島国の日本は基本的に同じ慣習にしたがって生活しているからかな。

日本は島国だからかな。アメリカでは自分の評価があればいい。いろんな人種や価値観、文化が混じっている国。共通のバックグラウンドがないからバラバラでもいい。一方日本は基本的に、同じテレビを見て、同じ慣習に則って生きている。

シカシカ：ほんとか？

ホヘー：島国 or 大陸で比較すると。

シカシカ：村上春樹いつから好きなんですか？

滑舌：好きじゃないんです。毎回読もうと思っても、最後まで読み切れない。

シカシカ：村上春樹を出したので、勝手に好きなんだと思いこんでいた。同じように、今までベストセラーの話をしてると、その人が「好き」と言っていなくても、俺は好きなんだと思いこんでいた。日本人は、ベストセラーの話をするだけで、相手は好きだと思ってしまうのかな。村上春樹の名前自体に、人をひきこむブランドがあるんじゃないかな。

滑舌：メディアの言い方に踊らされてしまう、ということですか？

米村：質問の段階で前提をたてているのはよくない。前提自体を疑うべき。

僕は質問に対して違和感があった。『1Q84』で急に騒がれた訳ではない。僕の認識では、70年代、文壇がドロドロした世界だったとき、狂気的で飲んだくれで、不健康な生活をしてる人が、すばらしい文章を書くと思われていた。そこで村上春樹は、早朝にランニングして、朝ご飯はサンドイッチとビール。それまでと違う空気を伴って出てきて、若い人のファンが少しずつ増えてきて、そのままメジャーになった。ミシュランの話でも、普通の人はぐるなびや口コミを頼りにしている。ミシュランを見る時は「ミシュランに行ってやろう」という意気込みで行く人の方が多いんじゃないか。むしろ質問の段階で、ステレオタイプを肯定した前提で考えてる気がする。聞いた話を前提にして考える癖は、一度壊した方がいい。前提自体を疑う。

小霜：聞いていることは、村上春樹がどう、という点でなく、なぜ日本人はベストセラーに群がるのか。

米村：その二つの問題は違う話だと思う。

**おにぎり**：みんなの話についていけなくなるのが怖い。

私が売れている本や映画を見なきゃ、と思うのは、話についていけなくなるから。村上春樹の昔の作品は読んでいるが、最近の作品を読んだことがなかった。でも、話題作だから読んでるよね、という前提で話をされて、ついていけない。だから読みます。

**センター**：情報量の多さから選択を他のものに頼るのかな。

今まではいっぱい本があるだろうという想像だけで済んでいた。そこにネットが出てきて、実際の本の量に圧倒された時、自分で選ぶのに限界を感じて、ランキングとか、本屋大賞とかを見ちゃうのかな。

**小霜**：本能的恐怖心が背景にあるのかも。

この二人の言うことは違うんだけど、おにぎりの言うことは、恐怖心。日本人に関わらず、人間は村八分を恐れる。今も昔も、一人で生きていけないから。つながらないと生きていけない。学校でのいじめも、村八分にすぞ、ということ。人間はどこかでつながってる、ということを確認したい。ベストセラーはそのためのツールかもしれない。「さぁこれでつながろう」「次はこれでつながろう」。アメリカは多文化国家で、どうやってユダヤ人と黒人がつながれるのか。「一緒になろうぜ」ではなく、「俺はこう」「お前はこう」と自己主張する方がうまくやれていけるのかもしれない。たぶん日本は基本的に単一民族なので、つながろうよ、となる。外されたら嫌だよね、という本能的恐怖心がバックグラウンドにあるかもしれない。

**世界の野糞**：つながれるってすごいな。捉えようによっては、おもしろいことができるんじゃないか。

**小霜**：アメリカ人をつないでいるのは「理念」。Freedom とか Democracy。これが崩れるとたちどころに瓦解してしまうから、理念を死んでも守ろうとする。国の成り立ちが日本と違う。

**垢ブリ**：アメリカで評価されている本や食べ物は、絶対的におもしろい、おいしい、となりうるのか。日本人は売れてるものが好きで、結果売れる。アメリカ人は個性を主張をして、売れてるものを買う訳ではない。だからアメリカで売れているものは本物だ、という考え方もできる。

**小霜**：アメリカにも当然ヒットチャートはある。0 か 100 かではなく、傾向として考える。

<垢ブリの疑問> 女性がスーツを着なくていいのはどうしてか。

垢ブリ：なぜ女性は会社でスーツを着なくていいのか。中高では制服を男女共に着ていたし、就活でもスーツを着ているのに、入社してから、女性は私服になり、羨ましい。半袖で涼しそう。男女平等と言われ、女性も同じぐらい仕事をできる時代になったのに、なぜ女の人は服装が自由なのか、それが疑問。

安倍さん：職種によって違いはあるんですか？

垢ブリ：イメージとして、全体的にカジュアル。この場にいる働く女性にしても、スーツを着ていない。僕は嫌々スーツを着ている。

ホヘー：アナウンサーにしても、男性はスーツ、女性はカジュアル。

おにぎり：結婚式などフォーマルな時も、男だけスーツ。女性はドレスとか、自由がある。

ホヘー：不快じゃないから。かわいいから OK。

滑舌：華やかさが求められてるんじゃないかな。

オフィスを見渡して、黒いスーツばかりだったら、生産性が落ちるかもしれない。すこしキレイな人がいた方が、男の人の効率も上がると思う。

垢ブリ：そう考えたら、レースクイーンを歩かせといたら、最高じゃないですか。

ホヘー：集中できます？

世界の野糞：働き方に要因があるのかも。

仕事でアパレルの広告を担当しているが、そのブランドが生まれた 1995 年頃には、スーツスタイルが全盛で、女性のスーツが売れていた。それが段々とカジュアルに転んで、女性のスーツが売れなくなってきた。ここ 20 年間の女性の働き方の変動と、服装の変遷がリンクしてるのがおもしろい。働き方に要因はあるのかな。

ホヘー：女性の方が働く歴史が浅いから？

男性の方が働いてる歴史が長いから、服装もスーツで固定してる。今は女性が働いて歴史が浅い



から、そこまでいってないのかな。

垢ブリ：伝統がない分、壊しやすいのかもしれない。

ピロリ：職種にもよりますよね。広告業界の人は営業も含め、男性でもゆるい。女性でも、職業によってはスーツやジャケット着ている。なんで男性ってずっとスーツなんでしょうね？

未満：男性にはきっちり感を求めてしまう。

新卒で入った会社が人材の会社で、男女ともスーツだったが、ヘアスタイルが男性は黒髪、女性は明るめの茶髪でも OK だった。営業で染めてる女性が来ても何とも思わないけど、男性がちょっと髪の毛明ると、信用できない。男性にはきっちり感を求めちゃうのかな。

米村：スーツって、元々軍服？

小霜：ネクタイの起源は、十字軍だとわかっている。こいつは私の男よ！という目印で彼女や女房がスカートを巻いた。

米村：だとしたら、なんとなく戦闘服の意味合いがあるかもしれない。

坂根：海外だと、男性のフォーマルはスーツだけど、女性のフォーマルはドレス。  
そこから来てるのかも。

米村：わりと起源の根拠があるかもしれない。

小霜：働いている女性が多い30代後半の人たちが自分を若く見せるために服装を変えていったのかも。そういう人達が文化を作ることがある。

ちなみにロンドンの「サヴィル・ロウ」という通りが、スーツで有名で、そこから「背広」という言葉が生まれた。

突拍子もない仮説かもしれないが、今働いている人で一番人口の多い世代は30代後半。人口の多い層がカルチャーをつくることがある。昔の女性はスーツだったけど、カジュアルになっていった、というのは、20代の頃スーツ着ていたまさにその人たちが、服装を変えていったことも考えられる。20代でスーツ着て、若いし初々しいね、と言われてたのが、30代40代になるにつれ、服装を変えることによって、自分を若くみせたんじゃないか。化粧の本質って、若返り。口紅は子どものよ

うに血色のいい唇を演出する。赤ちゃん肌が最高、と言うぐらい、瑞々しい肌がいい。服装を若くみせることで、魅力的になるために、変遷していったのではないか。韓流ドラマばかりやっているのは、一番人口の多い 60 代のおばちゃんが、韓流を観てるから。実はそこがカルチャーをつくっている。働く世代で言うと、今 40 代手前の女性たちが、そういうカルチャーをつくってきたんじゃないかな。

**<おにぎりの疑問> 業界で「おはようございます」と時間に関係なく挨拶するのはなぜ？**

**おにぎり**：業界用語の「おはようございます」はなんでなんだろう。居酒屋で夜アルバイトに来た人が、「おはようございます」と言っていて、よくよく考えたらおかしい。調べると、タレントが使い始めた、と書いてあるんです。それ以上はわからない。なんで時間に関係なく「おはようございます」なんだろう。

**センター**：敬語になるのがおはようございますしかないから。

聞いた話では、挨拶の中で敬語になるのが「おはようございます」しかないから。「こんにちは」だと、敬意が示せない。

**垢ブリ**：はやく来てくれましたねの意味？

夜であっても、はやく来てくれましたね、という意味で「お早う」を使っているんじゃないか。

**小学生**：時間が不規則な業界だから？

時間が不規則な業界だから、統一するために、いつ来ても、一番最初に来たタイミングで、「おはようございます」と言うのかな。

**コゲ太**：フレッシュな最初の挨拶だからかな。

来て初めて会う、これから仕事をする、と考えると、一番フレッシュな挨拶として「おはようございます」を使うのかな。

**おにぎり**：皆さん使ったことありますか？

**滑舌**：それがマニュアルとしてありました。最初に来た人が「おはようございます」をどの時間帯でも言う。

**で？**：むしろ、アルバイト先で使いませんでしたか？

おにぎり：朝に出勤するバイトだったので、時間的に当然かな、と思ってましたが、コンビニや居酒屋で聞くと、違和感がある。

未満：「お疲れさまです」ではないんですか？

おにぎり：「おはようございます」って言います。挨拶の中で唯一敬語だっていう説が納得できました。いろんな意味があって、「おはようございます」という気がしてきました。

米村：遅い時間の「おはようございます」に違和感あったら、なんて言う？

おにぎり：「こんにちは」はないし、「お疲れさまです」？確かに代わる言葉がないです。

世界の野糞：会社で午後出勤したときに、「おはようございます」って言いにくい。朝じゃねーだろ！ってまわりの人たちに思われそうだから。

おにぎり：そういう時はどういいますか？

世界の野糞：「お疲れさまです」

未満：確かに目上の人に「こんにちは」は言いづらい。私も「お疲れさまです」とか「おはようございます」。

米村：調べた方がいいんじゃない？「ごきげんよう」って言う人もいなかったっけ？

ホヘー：叶姉妹とか？

おにぎり：調べるといろんな事が出てくるんですけど、どれが本当の理由なんだろう。

安倍さん：[言ってる事と言いたいことは違うのか？](#)

「お疲れさまです」も大学で友達とすれ違うときに、疲れてないけど言う。言ってる言葉と、言いたいことは違うのかな。

**ホヘー**：言ってることより、言う行為の方が大事。

とりあえず目上の人に声をかけなきゃいけない時、行き着いたのが「おはようございます」。時間とか、意味とかを考えるより、挨拶する行為の方が大事。

**世界の野糞**：崩れてくと「ウスツ」とかになって聞き取れない。

**米村**：子どもをオーディションしたら、夕方に「おはようございま〜す！」と入って来るのが、悲しい気持ちになる。「よろしくお願いします」でもいい訳で。

**ピロリ**：歌舞伎説が有力、という記事もあります。「一日を通して公演が行われて、トリを務める人は夕方に楽屋入りします。その下の者が『おはやお着きでございます』略して『おはようございませす』と出迎えたのがはじまり」。

**おにぎり**：職業的に、一日を通してそれが使われているのかな。でも居酒屋でも聞くよな、とモヤモヤしたが、敬語になるのが「おはようございます」というので納得できそうだけど…もうちょっと調べてみます。

**<シカシカの疑問> 女性は得意料理は何と答えるのが正解か？**

**シカシカ**：合コンとかで、女の人に「得意な料理なんですか？」と聞いたときに、無難な答えとして「肉じゃが」がある。確かにそれが正解かもしれない。なんて言えば正解なのかな？この場は男女半々なので、女性の得意料理の答えが何が正解なのか、話し合いたい。今「肉じゃが」と聞いても、聞き慣れてるから何とも思わない、普通の返し。

**安倍さん**：家庭的なのが大事？

家庭的な感じが出せる。じゃあ味噌汁とご飯は、どうか。ほとんど自分の調理する余地がない。あえて難しい料理がうまいよ、とすることで家庭的になる。

**垢ブリ**：カレーライスって家庭的だけど、男でも「うまいの作れるし」と思う。肉じゃがは作り方がよくわからないし、そんなに作らない。バランスがいいと思う。

**おにぎり**：肉じゃがが一番味付け難しい。材料で言うと、カレーとシチューは同じ材料で出来る。王道な料理・材料の中で、肉じゃがが一番家庭的な感じがする。

世界の野糞：家庭的なのが大事なんですかね。

ホヘー：嫌いな人がいない料理だし、料理名聞いてすぐイメージできる。お母さんに「ビーフストロガノフ」と言われても、おかしい。

ネチ・ネチ郎：わからない名前の方が、「食べに行っていいい？」と言いやすくないですか？

ピロリ：シカシカさんの言う「正解」はどういう意味ですか？

シカシカ：何回会ったかにもよると思うし、今初対面のこの場での正解が知りたい。「肉じゃが」っていうとつまらないかな、と思う。

ピロリ：グッと掴める、っていうことですよ。

ホヘー：今いる女性は、肉じゃが以外でなんて答えますか？

滑舌：豚汁。

ホヘー：いいっていうか俺は好き。

ピロリ：初鹿さんは何だとグッと来るんですか？

シカシカ：わかんないんです。

ピロリ：「あなたの作って欲しいもの」

男性|あ～

小霜：肉じゃがに惹かれるのは育った家庭が垣間見えるからでは。

異議あり。肉じゃがって言うのは、「真っ当な家庭で育ってます」ということ。毎日母が肉じゃがを出してくれるような家庭で育ってきました。そこに惹かれる訳でしょ。

安倍さん：日本だと、肉じゃがが真っ当だな、と思うけど、外国ではどうなのでしょう？

で？：インドだとカレーですよ。

米村：模範解答は肉じゃがと言われがちだけど、男子の好きな料理が肉じゃがの人は、ほとんどいない。  
あれは食べるけど、そんなに好きじゃない。

小霜：バックグラウンドの象徴としての肉じゃが。

肉じゃがが食いたい訳じゃないのに、肉じゃがと聞いたら安心する。その子のバックグラウンドを感じ取って、いいなって思う。女子も自分のバックグラウンドの象徴として「肉じゃが」と答えてる。

センター：味噌汁でもいいバックグラウンドを持っている？

小霜：味噌汁だとありきたりすぎる。家庭のイメージがつかない。

米村：うちの子どもがじゃがいも大好きなんだよ。好きな料理は肉じゃが、好きな味噌汁の具はじゃがいも。肉じゃがは女子が好きで、女子からみて男子が好きそうって思ってるのではないか。女子は肉じゃがが好きですか？

で？：好きですね。

おにぎり：ふつう。

ホヘー：実家が福岡なんですけど、帰省するときに、前もって親から「何食べたい？」と聞かれた時、とりあえず「肉じゃが」と答える。僕は肉じゃがが好き。

米村：男の子、女の子でわけて考えがちだけど、本当は違うよね。

世界の野糞：僕は好きな料理を聞かれたら、カレーとかラーメンとか、子どもっぽいことを言う。もしかしたら、かわいいでしょ？というアピールを打算的にしているのかも。

ホヘー：さっきの「ちょっとダメな男」感。

<コゲ太の疑問> 外見の自分らしさってどういうものだろう？

**コゲ太**：一週間前に自分で前髪を切った。意外と短くなってしまって、親には「子どもの時と一緒に」と言われ、友達には「レディ・ガガ目指してるの？」と言われ、イジられた。「この髪型おかしいかな？」と思っていたけど、電車に乗っても二度見されたりはしない。そこで、自分らしさって何だろう？と思った。ファッションや髪型で個性を出すときの、自分らしさってどういうものだろう？

**シカシカ**：壮大…

**安倍さん**：髪とか服って、自分らしさが出ると思う。青い服を選ぶには、その理由があると思う。他人とは違う服を選ぶのは、あえてそうしたんだろうな、と思う。服という観点からみたらどうか。

**小学生**：他人が自分の自分らしさを作り出しているのでは。

こうなりたいと思って、自分が髪型や服を決めるのはもちろんあるんですけど、他人からどう見られたいかという視点もある。他人がむしろ自分らしさとか自分のキャラクターを作り出してるんじゃないかな。

**コゲ太**：他人にどう見られたいかによって、自分の服装や髪型を決める？

**安倍さん**：無意識ではそうしてるんじゃないかな。本棚や自室って、自分が好きなものを選んでるつもりでも、実は自分がどう見られたいかを念頭に置きながら作ってるらしい。他者の視線は大事なんじゃないかな。

**米村**：今日から小霜は、イメチェンして、スタイリストに全身コーディネートしてもらってる。

**小霜**：HelpButtonの2人に「広告業界で、小霜は悪人イメージが強すぎる」「見た目のイメージを変えた方がいい」と言われ、選んでもらった服以外着ちゃいけなくなった。綿密な打ち合わせの結果、いろんな服着せ替えさせられて、これ、と言うものを大量に買った。

**世界の野糞**：そういうのって、どういう感覚ですか？

**小霜**：これでもいいかな。メディアによって人格が変わるって話に近い。こう見られてる自分もありかな。

もともとファッションに譲れないこだわりがない。

坂根：小霜は、もともとコム・デ・ギャルソンのシャツに、ゆったり目のパンツのスタイルだった。選ぶのがめんどくさいから。制服と一緒に。

世界の野糞：今のワードローブにギャルソンは一切入ってない？

小霜：ないね。

米村：悪人呼ばわりされてるのは、ファッションと関係ある？

小霜：ブカッとしたシャツを着てると怖いと言われた。服を選んでくれた人によると腹が出てようと、タイトなシャツを着ないといけならしい。それをネタに遊んでるだけだと思うけど。付き合っただけだよ。

小学生：服変えることで気持ち変わりました？

小霜：何も変わらない。窮屈でストレスが溜まり気味。

米村：人に与えられて客観的にでも変えてもらわないとなかなか自分では変わらない。

ファッションや音楽は、自分の個性に加えて、世代があって、僕らの思春期は『ポパイ』『ホットドッグ・プレス』といった雑誌、アメカジ、リーバイスとかのファッションが流行っていた。大学時代にそれを経験すると、いくつになってもそれを引きずる。HIP-HOPは聴けずに、やっぱりロックが好きだったり。思春期にインスパイアされたものは、世代間で共有できる。「ジェネレーション・カルチャー」があるんじゃないか。人に与えられて、客観的に変わるのもおもしろい。そうでもない、自分じゃ変わらない。

小霜：一卵性双生児の研究で、生まれてすぐ別々の親に引き取られて、まったく違う環境で育った二人は、行動の癖、政治信条など、あらゆることがものすごく似ていた。遺伝子が同じだと、育った環境が違っててもかなり同じということがわかった。個性って何なのよ？と考えた時に、遺伝子が半分を決めている。加えて、生まれて育つ中で後天的に身に付いたもので、人間の個性が決まっていくのかな。それがあって、「前髪がこうじゃないと嫌だ」とか「レディ・ガガと言われても、これがいい」となるのかもしれない。



<ネチ・ネチ郎の疑問> 東京にモノレールが少ないのはなぜ？

ネチ・ネチ郎：最近地下鉄通勤を始めて思ったこと。地下鉄の暗いのが嫌で、モノレールに乗りたいけど、極端に少ない。東京でモノレールをたくさん走らせたいな。

ネチ・ネチ郎：地下鉄は階層になっているので、どんどん深くなっていく。それならば、ちょっと地上から浮かす方が、効率がいい気がする。

垢ブリ：地下で移動して地上に住んでるのが、地下に住んで地上で移動することになってしまう。

世界の野糞：なぜ、移動手段に空間の質を求めず地下鉄を作ったのか？という疑問。

最初地上で走っていたのが、通す場所が無くなったから、じゃあ地下にしよう、という思考で地下鉄が始まったと思うんですけど、移動手段なので環境のよさを考慮されてなかった気がする。「移動の時、もっと気持ちいい空間でいいじゃん」という意見だと思うんですが、なぜ「移動の際の空間の質」を求めずに地下鉄をつくったのか、という問題提起にすればいいのではないかな。

で？：物理的に大都市では無理。

モノレールのある千葉市で育ったんですが、運賃が高い。乗客も少ない。遅いし、空中で停まる事故もある。地下鉄の込み具合でモノレールなら、落ちる人も絶対いる。人口密度としても市内では考えない。物理的に市内は大きい柱を建てられないし、ラッシュもなくゆったりした都市でないと建てられない。

おにぎり：大船のモノレールが地元で走っているんですけど、二年前に事故があり、モノレールって危ないし、だからスピードを出せないんだと思いました。

ネチ・ネチ郎：千葉都市モノレールって、電車がレールの下にある珍しい設計。近未来でかっこいい。東京の夜景をモノレールで上から見下ろすのは気持ちいいはず。

ホヘー：車は乗り心地やかっこよさを求めるわりに、電車は居心地を我慢する。電車に乗らざるを得ない要因がある気がする。僕は東京の窮屈な電車に乗るのが嫌いで乗り過ごす。でも皆は乗る。

小霜：モノレールって乗ってて気持ちいい？

ネチ・ネチ郎：見てるのが好きです。

小霜：じゃあダメじゃん。

センター：建設にお金がかかるから。

地元が立川で、モノレールあるんですが、運賃が高い。なんでか？建設にお金がかかってるから。モノレールはもう増えない。違う電車ができない限りしょうがない、と割り切ってるんじゃないかな。

小霜：景色が見えると気持ちがいい。のは本当か？

経済的な理由でモノレールが普及しないのはすぐわかる。地下鉄って暗くて、楽しくないけど、モノレールは景色が見渡せて気持ちいい。だから普及した方がいい。でも「景色が見えると気持ちいい」は本当にそうかな？俺新幹線乗るとき窓閉めるよ。

ネチ・ネチ郎：僕富士山の時は見ます。

小霜：毎日の風景になったらわざわざ見るかな？

風景が気持ちいいのって、出会いや発見があるから。だから見知らぬ土地に行く時は、窓空けて見るよね。それが日常になったらわざわざ見るかな。皆初めて事務所に来てるから、見渡すけれど、毎週来ていたら、同じようにはしない。通勤でモノレールに乗って、楽しいかな。

米村：もっと単純に、窓のない地下室と、窓のある地上階だったら、どっちが気持ちいいか、ということじゃないの？

小霜：本当にその理屈でいいのか？ということを書いている。

ネチ・ネチ郎：窓があればぎゅうぎゅうな感じが変わる気がする。

米村：『ブラタモリ』で、中央線を作った時の決めごとが「踏切を作らない」ということだと聞いた。地上に鉄道を作ると踏切で道路を分断してしまう。中央線は初めて踏切なしにチャレンジした。その方向性だと、地下にもぐるか、地上を行くかでいくと、コストを考えて地上だよ。モノレールも、空中に二本のレールを作って鉄道を走らせるより、一本のコンクリートを建てて、それをまたがって自走させる方が安いからそうしている。

小霜：そんなに地下鉄って嫌かな？

ネチ・ネチ郎：もぐるのが嫌。

小霜：地下鉄が暗くてモノレールは明るいという発想は浅い。なぜ地下鉄はいいのかと考える。

もぐるってことは、出ることでもある。地下鉄から出る時の気持ちよさがある。トンネルって嫌なのか？「トンネルを抜けると雪国だった」があるように、トンネルがあるからこそ、その先のよさがある。見知らぬところに出る、眠りから目覚めるような気持ちよさ。それが皆の記憶としてあるならば、地下鉄にも、もぐって、出る、という気持ちよさで、メリハリがついている。「地下鉄って暗い。モノレールって明るい」という発想が浅いのでは。暗いからダメなのか。地下鉄にはいいところがあるから普及してる。だから、「なぜ地下鉄はいいのか」と考えてみた方がいい。

ネチ・ネチ郎：僕は、パッと視界が開けていいじゃん、と思える心理状況にない。毎日仕事で帰りも暗い。

米村：気持ちいいと感じるのは人それぞれ違う。

今の話は、生まれ育ちが関係してる気がする。小霜は新入社員の時、夜薄暗い中、電球で生活してた。ありえない。俺は緑のあるところに住んでいた。通勤には不便だけど、寝たり起きたりするところはそういうところじゃないとダメ。生まれが金沢で、海もあった。小霜は大阪の、緑のないところで育ったから、それで落ち着ける。遮蔽して自分の空間にした方が気持ちいいのと、オープンにした方が気持ちいいのは、幼少期の育ちの違いによる感じ方の差からかな。

小霜：部屋は電気つけずに、電球で漫画読むのが好き。

米村：俺は蛍光灯の明かりが嫌い。心地いい空間って、人それぞれ違う。

塩見：私は生まれも育ちも東京ですが、自然ばかりで人がいない田舎がちょっと怖い。地方から出てきた人は、スクランブル交差点や歌舞伎町が怖い、と言うが、私は平気。

<ピロリの疑問>デートで割り勘ってどうなの？ ※ピロリ→生徒の中で最年長

ピロリ：最近の20代のカップルが、デートの時に割り勘してる。二年前後輩のアラサーの男性に「全然割り勘ですよ」という話をされて、衝撃を受けました。自分が若かったときは、おごってもらるのが普通の感覚だった。皆さんはどうなんでしょう？

未満：学生の時なら、付き合うのは社会人とか上の人が多いから、男性が出す。最近は20代そこそこで、社会人でお金もあるし、周りを見ても割り勘が増えている。

ピロリ：出してもらえれば嬉しいけど、割り勘でも別にいいってこと？

未満：お金を出されるのに気を使うから割り勘が嫌だとはあまり思わない。

割り勘がむちゃくちゃ嫌って訳じゃない。逆に出されると気を遣って、誘いづらくなるのが嫌。気軽に飲みに行きたいのに、毎回出してもらうと金づると思われるのが嫌。

ピロリ：デートでも？

未満：毎回出されるのは嫌だな。

おにぎり：周り見てると、ふつつ割り勘かもしれない。

ホヘー：僕は貧乏生活を送ってます。同い年と付き合ってるけど、男のプライドがあるので、水道止められてトイレ流せないとしても、多く出す。11歳離れた兄貴が「男だから出す」という姿を見てきたので、彼女と行く時は、余裕をみせて出す。全員が多く出す訳じゃないし、昔に比べ割り勘でも気が引けることもなくなってる。

ピロリ：割り勘は合理的だ、という意見を見て、頭ではわかってるけど、心ではごちそうになってもいいのに、と思う。男の子だったらバイトしてでも彼女におごりなさいよ。これは古いのかな？

おにぎり：母親が「どこにご飯連れてってくれるかで、その人のセンスがわかったのよ。最近の若い子は…」とよく言っていた。

ネチ・ネチ郎：女の人が強くなってきたのでは？

男の人が出さなくなったというよりも、女の人が強くなってきた。僕は比較的ダメンズで、育ててくれそうな、男勝りな女の人が周りに増えてきてる。そしてそれに甘んじる。

ピロリ：相手がお財布出したら、もう割り勘？

ネチ・ネチ郎：お金がない時期があって、相手が財布出した時に、引っ込めさせてまで「払うよ」とはならなかった。

米村：モヤモヤというより、「男なら出せよ」という威嚇だよな。彼氏が学生なら「出せ」って言う？

ピロリ：言わないです。自分が誘った後輩には男女問わず「自分が出さなきゃ」って思う。でもやっぱり男の人の方が食べたり飲んだりするし。

米村：僕らの世代にあった「男子たるもの」という感覚が、今は無くなってきている。そんな悪いことじゃないと思うけどな。

ピロリ：30代後半の坂根さんは？

坂根：私の場合は、デートで割り勘にしたことはないです。出そうとしてる男性に対して失礼な感じがするから。そこは「出して」と甘える。

ピロリ：どの辺の世代で割り勘になっちゃったんだろう。

坂根：私の世代は、割り勘の人もいた。ただ私は出さなかったなあ。

小霜：「無理したくない。」は進化かもしれない。

男は無理しておごってる。合理性はない。ピロリが言うのは「無理してでもおごってくれよ」ということでしょ？じゃあなぜ今は「無理はしたくないよ」となっているのか。僕は進化だと思う。男が肉体的に強いのは、女を取り合うためにケンカして勝ち残ってきたから。一夫一妻制になって、ケンカする必要がなくなって、「草食男子」が出てくるまでになった。一人ずつあてがわれるんだから、「無理してアピールしなくていいじゃん」となるのは当然の帰結。進化してる人は「割り勘でもいいじゃん」となるし、進化に遅れてる人は「男たるものは！」とアピールしてる。

米村：ホヘーが出すのは九州だからだよ。

安倍さん：僕も九州です。多めに払うことはあるけど、それで精一杯。

米村：友達の家でパーティが終わって、洗い物は女子の仕事？

ピロリ：女子の仕事かな。

米村：バランスをとっているのかも。

学生時代アメリカにいた時、寮の食堂でパーティをして、片付けをくじ引きで決めた。女の子がするんじゃないの？と驚愕した。30年前は「私するよ」と女の子が言うのが普通だと思っていて、カルチャーショックだった。「男ならおごれよ」、でも「女は洗い物するよ」というのは、しっくりくる。洗い物は平等で、男がおごれよ、ではバランスが悪い。

小霜：その時の料理は割り勘じゃなかったの？

米村：男が出すべきだと思ってた。だから皿洗いは女子がするんだろうと思ってた。

小霜：カルチャーとしては割り勘だったんだよ。

米村：そう。当時の日本は雇用機会均等法以前で、男尊女卑。今は世の中が進化してきた。

世界の野糞：妻の実家で皿洗いすると、義母に「うちの旦那はそんなことしてなかったのに」と褒められる。おむつも替える。僕自身割り勘で妻とデートしていた。

小霜：家事ってしたことない…。

世界の野糞：進化されてない、ということですか（笑）？

ピロリ：男の子の方の力が抜けたのかな。頑張らなくてもいい。

米村：割り勘にしてる子は、男でも洗い物してるんじゃないかな。おごらないし、洗い物しないやつは、問題あり。

坂根：私は洗い物をする方だから、そういう人ほど、おごってもら意識が強いのかもかもしれない。

米村：意地でもおごるけど、洗い物はお前やれよ、って思ってんじゃない？

ホヘー：完全に思ってます。

ピロリ：そのバランスがある訳ですね。

<センターの疑問> 満員電車はなぜなくなるのか。

センター：満員電車がなくなるのは中吊り広告のせいという仮説。

満員電車はなぜなくなるのか？ここ数週間の仮説は、中吊り広告があるから。満員電車だと、本も、ケータイも見えないから、上を見るしかない。そして広告を見ることが多い。満員電車をなくすと中吊り広告が見られなくなってしまうからかな。

小霜：陰謀論？広告代理店にそんな力はないです。広告を見せたいから、満員電車を存続させるパワーなんてない。

世界の野糞：なぜ時間差で通勤しないのかってこと？

センター：もっといろんな工夫ができるはず。不快に思う人が多いのに、長い間改善されないのが不思議。

米村：満員電車は改善されてるよ。2、30年前はもっとひどかった。今では駅員が押して無理矢理入れる光景はかなり少ない。かつては当たり前だった。ホームに人があふれすぎて、落ちて人が死んだことがある。今は柵が出来てる。車内で肋骨が折れることもある。あと通勤時間をずらす話は、GWとかでも分散しようと言ってるし、改善されてきてると思う。

小霜：堪えられるからなくなる。

答えは明快で、そこまで不快ではないから。一両あたり一日一人死ぬ、となったら、そこまでのリスクを冒したくない。堪えられるから、続いている。許容できる範囲を超えていない。

安倍さん：鉄道会社も頑張っている。小田急も本数増やすために、下北沢を地下にしているし。僕は熊本出身で満員電車無理だから、絶対時間をずらす。我慢できない人はそうする。それをやらないってことは、我慢できるんだろう。

小霜：そんなに嫌だったら、一時間早く行ってよ。その程度の話。

米村：変わってないと言い切るのはよくない。広告を考える上では1と0の間を探る事が大切。

電車だけでなく生活環境は改善しつつある。中国のPM2.5で騒いでいるけど、70年代の東京は青空がなくて、あんな感じだった。粉塵、排気ガス。東京湾は汚染されて魚が住めない。神田川は臭い。中国も後何年かすれば改善されて来るだろう。滋賀県の汚水を大阪の人が飲む感じで、クソまじった淀川の水が、今飲めるようになっている。そう考えると、「何も変わってない」とスバッと切ってしまうのがよくない。努力や改善はしてるが、まだ余地があるところにリアリティを感じる。割り切った考えじゃなく、1と0の間にもっとメモリの細かさがある。実際どの辺なのか探ることが、広告の仕事で大事なこと。

センター：自分も、なんで我慢できてるんだろう、と思いながら乗っている。友達に聞いてもそう。

米村：肋骨折ってた時代に比べると、我慢できるようにはなってる。

坂根：痴漢は減ってるのかな。

米村：昔より減ってるかも。痴漢がテーマの映画もあんまりないもんね。

坂根：AVとかもあんまりないんですか（笑）？

米村：温水さんとか出てたやつ。（『痴漢日記 尻を撫でまわしつづけた男（1995年）』）

ホヘー：何の話してんすか。

米村：トレンドの話。

坂根：冤罪の話（『それでもボクはやってない（2007年）』）とかあるから、みんなやっぱり怖がるんじゃない？

おにぎり：この辺だと田園都市線がダントツに多い。満員電車がすごいからかな。

米村：埼京線だけ？埼玉系が多い。

世界の野糞：満員電車乗るか、一時間早く起きるか・遅刻するか。日々の選択の中で、プライオリティが低くなっちゃうのが、満員電車に乗ることなのかな。



センター：一時間早く起きるぐらいなら我慢するか。

世界の野糞：これ遅れたら怒られるから乗るか。そういう選択な気がする。

米村：昔は選択の余地がなかった。「そんなことで時間ずらすな」と言われていた。

<で？の疑問> 引越の挨拶について。

で？：二週間前に引越したけど、いまだに隣人に挨拶が出来ていない。何回行っても居留守を使われる。

二軒隣にたまたま会った時に、お菓子持って挨拶したけど、「この家の住人じゃないです。住人は彼氏です」と言われた。実際に住んでる人とはいまだに会ってない。今は引越した時の挨拶の習慣はないのかな？両隣の人にしていますか？

ホヘー：東京でしないのは治安の問題かな。

福岡から出てきた時、隣の方に挨拶行ったら、いるはずなのに出てこない。たまたま出てきたので、挨拶したら、（コイツ話しかけてきやがって）という空気を出された。東京にいる兄弟に聞くと、挨拶に来られても怖いらしい。地元では、挨拶するのが当然だったのに、上京した途端、それが疑問になってしまう。関東ならではなのかな？あまり都会すぎないところなのに、挨拶をすると変な目で見られるのは、治安の問題か。隣が何者なのかわかりたくないからか。

坂根：オートロックのところだと、開けないとマンションに入れない。挨拶で直接ピンポン鳴らされると、誰かわからなくて怖い。

米村：誰かは見えるじゃん。

小霜：見えるから逃げられるのかもね。ホヘー以外の住人はすごいつながってるとか。（笑）

ホヘー：「ひよこ」を出して、挨拶に来ました感を出してた。隣は同世代の男性なんだけど「ひよこ」持ってたらない。俺に問題あり？

で？：私は「ひよこ」じゃないですけど…たまたま年配の方の入居者に会って言ったら、「ご丁寧にどうも」とすごく感謝された。

おにぎり：うちの実家のマンションは宗教とかの勧誘がすごくて出ないかもしれない。宅配の格好してないと、出ない。

ホヘー：僕は見ないで簡単に出ちゃうタイプ。ある日おばあちゃん二人が来て「『アルマゲドン』って知ってますか？」という話にまじめに対応したら、ターゲットにされた。その後すこし警戒してて、覗いたら警察の格好してたので出たら、「こんな簡単に開けちゃダメだよ」と説教を受けた。「最近警察の格好で中に入って強盗する人がいるから気をつけろ」って。

センター：東京だけなのか、大阪もそうなのかが気になる。

米村：東京には東京出身の人が少ない。いろんな地方から出てきてる。横浜、大阪はわりと地元の人が多い。東京にはいろんな価値観がバランスよく配合される可能性があるところ。広告業界でも、いろんな地方から出てきた人が活躍している。東京はリベラルなところ。

坂根：東京だからといって皆警戒しているわけでもない。

東京に来て7、8回引越をしていて、挨拶しても、出てくれない人の方が多かったが、今は築40年のマンションで、おばあちゃんと「今日お茶しない？」みたいな関係を築けている。東京だから一概に隣人に警戒している訳ではない。

米村：警戒しているから、冷たい人間関係というところに直結するわけではない。

いろんな人がいるから守らなきゃいけないルールがあるのかもしれない。金沢の頃は鍵かけてなかった。東京はいろんな人がいるから、マナーとして鍵をかけるところもある。それが「東京は冷たい」に直結する話でもない。

未満：わたし、いま茅ヶ崎に住んでるんですけど、越したとき、人がちょっとそっけないなって思った。あとになって聞いてわかったのは、茅ヶ崎は憧れて移住する人が多くて、入れ替わりも激しいから、変な人も入って来ることがあるって。だから、最初は警戒してしまうって。すぐには打ち解けられない、というのがあるみたい。

米村：沖縄とかもそう。

小霜：疑問は見知らぬ人がチャイムを押してもでない。ということ。

引越の挨拶に行ったのに出ない、というのは違う気がする。これは、見知らぬ人がチャイム押しても出ないのはなぜ、という疑問。ピンポン鳴らされて出ても、いいことなんてない。大抵は保険屋の売り込み、宗教勧誘。知らない人が来ても無視するに限る。そういうことになっていても、不思議ではないかな。

**シカシカ** : そもそも、なんで隣の人に挨拶したいんですか？習慣として？助け合えるから？

**で？** : 5、6軒シェアハウス暮らしを続けて、一人暮らしが初めてで、挨拶をしよう、と思った。震災以降の助け合いの空気もあり、挨拶ぐらいはいいかなと思っていたところ、いまだに会えない。顔を合わせた時に「こんにちは」と言える間柄ならいいかな。

**<安倍さんの疑問> 男は青、女は赤なのはなぜ？**

**安倍さん** : 大学でトイレで個室に入って出たときに、女子が6人いて、「あ、女子トイレだ」。なんで入ったんだろうと考えたときに、トイレのサインが黒かった。そういえば、男女の色って、なんで青と赤に分かれてるんだろう？ヨーロッパは黒だけど。そのトイレでも、ビデは赤。尻は青。なんでなんだろう？

**ホヘー** : 色は日本だけ？

調べたところ、日本人は色で識別しているが、海外では形で見ている。無印のトイレで、無印のブランドカラーのえんじ色だったから、両方女子トイレだと勘違いした。つまり色で識別していた。そもそも東京五輪のときに、ピクトグラムを作ったのが始まり。小学校でランドセルの色、上履きの色が男女で違う、といったジェンダーの話になる。でも海外は色より形を重視している。ピンクが男子トイレの国もある。実は赤と青は日本だけの違いではないか。

**安倍さん** : なんで男が青で、女が赤ということに、違和感を感じないのかな？

**センター** : 男が理論的で知性を表す青、女が感情的で情熱の赤、かな、と思ったが、世界共通ではないよ  
うだ。

**ホヘー** : 潜在的に男が青だという認識があるのか？

東京五輪で赤と青に決めるときに、男性をスーツの色として青に決めて、その反対として、女性を赤にした。潜在的に男が青という認識があるのか。

小学生：女性って生理がある。毎月血を出すから、赤に結びついたんじゃないかな。

ホヘー：血の印象が女性の方が強い。

垢プリ：水と火。家で火をおこす女と、川で魚を採る男。

ピロリ：赤ちゃんも、ピンク着てたら女の子だと思う。

安倍さん：東京五輪で決めたからそうなのか、みんながそう思ってたから決めたのか。

ホヘー：後者だと思う。

世界の野糞：寒色系と暖色系。暖色系は気分がほわっとなるから、女の子に対してこうあって欲しいと言う願望からピンクを着せてしまう。そこから、赤系、青系にわかれていったのかな。

小霜：女の人は、男が青、女が赤に違和感はないの？

女性：しっくりくる。

コゲ太：小さい時からそうなので違和感がない。

小さい時「好きな色何？」と聞かれて、「水色」「青」と答えると、「女の子なのになんで？」と言われた。女の子だという理由で、ピンクの筆箱、部屋を与えられたりっていうのはまわりでも結構あったと思う。小さい頃からそう教育されているから、違和感はない。赤が女の子だったり青が男の子だったりっていうのは、「ペコちゃんとポコちゃん」とか、キャラクターにしても使われている気がする。

ホヘー：赤レンジャーって男。関係ないか。

小霜：女性は昔食べごろの果物をとっていたから暖色系が好きなのかも。

昔女性は果物を採っていた。果物は赤いのが食べごろ。青いのは毒。女性が暖色系が好きなのはそこから来てるのかも。

坂根：男性は緑の草原で狩りをしていたから、寒色系が好きとか。

小霜：本能？

子どもの頃から本能的に女の子なら暖色系、男の子なら寒色系が好きで、そういうことになったんじゃない？

安倍さん：環境でそう思いこむようになった、というよりは、もともと本能的に男女の色の感覚が違った、という可能性もある、と。

小霜：そうそう。でも猿の頃は、男女ともに赤い果物を採っていたから、人間は初めに赤いものに反応する視覚を持っている。だから「赤信号」。その先、男は狩猟、女は採集となったので、分離してきた。人間トータルでは、赤に惹かれるけど、男女を比較すると、男は青、女は赤、となるのかもしれない。

坂根：今日みんなの服装も、女性赤っぽくて、男性青っぽい。

#### <食い丸の疑問> 女性の結婚と仕事

食い丸：結婚について。結婚して、子どもは二人欲しいので、30歳までに一人産みたい。でも、デザイナーにとって、30代は仕事する時期。この学校はいろんな年代の男女がいるので、女性の方は、結婚をどう考えてますか？男性の方は、同業者と結婚するならいつ頃したい？

ピロリ：20代の頃は周りに女性が働いていたけど、今、代理店のクリエイティブで子持ちで働いてる人はいない。特にデザイナーはハードだから、子どもが出来たら、辞めてフリーになることが多い。営業では、会社勤めを続けている人もいる。

小霜：結婚のよし悪しなんて、わからない。結婚をするべきかどうか、誰と結婚するべきか、というのをここで聞いて意味があるの？

食い丸：自分がやりたいようにやって、実際やってみた後にわかる、と。

小霜：「結婚して働いてる女性はいません」という話を聞いて参考になるの？その人たちは、正しい道を歩んでることになるのか？

食い丸：参考にしたい。

**ピロリ**：女性だから、仕事を続ける、主婦になるか、といった選択肢が多い。どんな選択肢があるか、知りたいということですか？

**小霜**：人の価値観はそれぞれ。女の方が選択肢が広い分、悩みが多い。男は独身でいくか、結婚するか、の選択肢しかない。それを男に聞いてもヒントにならない。難しいことだから、人の意見を聞いてどうこうという話ではない。「仕事と家庭を両立させよう」と考えて実現するためにどうするかなら、聞いても意味あると思うけど。

**米村**：意味あると思うよ。彼女の年齢では、判断するエビデンスがない。たとえば、世界的カメラマンの、シーラ・メッツナーは元々デザイナーで、結婚して子ども産んで、40歳過ぎでカメラマンとして活躍している。こんな選択肢もある。「30代でバリバリ働かないとダメだ」と思っていたら、選択肢は狭まる。そうじゃないやり方があるんだ、と思えば選択肢が広がる。いろんなことを知った上で、ジャッジしたいということなのでは？

**坂根**：女性は実際「自分が結婚したらどうなるのか」「子ども産んだら働けるのか」というのは、皆どこかで思ってる。

**食い丸**：みんなともっと仲良くなってから、お聞きしたいです。

**小霜**：最後に誰かに結婚観を聞いてみようか。

**未満**：年齢が年齢で、友達と話すことはあるけど、結論は出てない。まだ転職して二ヶ月で、これからいろいろ学ぶこともあるので、仕事をがつつやっしていきたい。一方、Facebookで同年代が「結婚しました」「子どもが小学生になりました」というのを見ると、羨ましく思う。仕事と結婚の折合いが、まだついていないかな。仕事で「女だから」という目で見られないような時代になってきたので、結婚しても仕事を続けられるようにやっしていきたい。

**食い丸**：皆さんもモヤモヤしながら考えてるんだな、とわかりました。

**世界の野糞**：結婚してます。同性には「結婚しちやいなよ」と言える。男性は結婚しても、子育てを妻に甘えられるけど、女性は甘えられない。女性が出産後、育児でブランクを作らざるを得なく

になってしまうのは、「甘えられない証拠」だと思う。じゃあどうすればいいか。「甘えられる男性」を見つけるといいんじゃないでしょうか…？

#### 小霜：自分の願望を見つめなおすこと

結婚と出産・子育てをセットにして考えてるけど、たとえばフランスは、シングルマザーに手当を与えることで、少子化から脱出しようとしている。男と一緒にになりたいのか、子どもが欲しいのか、願望を見つめ直す必要がある。

米村：子どもが産まれてから生活が変わったけど、結婚した時点では、ダブルインカムになっただけで、あまり変わらなかった。

#### <ホヘーの疑問> 感謝のプレゼントを Facebook に投稿 はどう思う？

ホヘー：母の日のプレゼントの写真を Facebook にアップする人の心境がわからない。本来なら、感謝したい相手は、母だけであって、Facebook にアップすることで、母への純粋な感謝が、「いいね！押してください」というアピールに見えてしまう。どう思いますか？

ピロリ：母の日限定？

ホヘー：父の日でも、誕生日でも。それを SNS にあげることで、「感謝したい」という気持ちが、いつの間にか「よく見られたい」という気持ちに変わっていないか？ そうなるとしたら、残念。

安倍さん：まったく同じことを思っている。母の日、飲み会、旅行の投稿をしてみると、リア充アピールと感ずることがある。でも、いいところもあって、Nike+で練習してるところを公開して、いいね！もらえるとやる気が出る。おかげで、熊本マラソンを完走できて、感想を報告することもできた。

世界の野糞：母の日のプレゼントを公開する気持ちには共感できないけど、「プレゼントを送る相手以外と共有すること」の可否でいうと、「ある人に捧げたラブソング」は共感を得られるもの。必ずしも共有がダメ、という訳じゃない。

#### ホヘー：何か違うと感ずる何かってなんだろう？

なんでもかんでも共有してしまうことに対して、「何か違う」と思う時の「何か」って何だろう？ 母の日のプレゼントを見せられると、気持ち悪い。

安倍さん：共有することで母のためだけの事ではなくなっているのが嫌なのでは。

母のためだった気持ちが、シェアすることで、その人のためだけじゃなくなっているのが嫌。  
四人で旅行行ったことが楽しかったのに、シェアすると、「シェアするために旅行してたのか？」  
と感じてしまう。

ホヘー：旅行は不快には思わない。母の日のプレゼントは気持ち悪い。

センター：母が投稿を見たら嫌だと想像できるから？

「受け手がその投稿を見たら嫌だろうな」、という気持ちを考えるからかな。母が Facebook  
を見たら「このためにやったの？」と感じるだろうと想像してしまうから？

おにぎり：送り手も嬉しいから、それを言葉にして表現したいのかもしれない。

シカシカ：母の日を Facebook にあげてるのを見て、俺は母の日を忘れてたことに気づかされた。「私は  
感謝してるけど、あなたはどうか？」という気持ちもあるのかもしれない。

ホヘー：他人も巻き込んでいる感じが下心に見えて嫌なのかも。

母の日は、周りにあわせて感謝するものでなく、本来自分と母の関係に基づいて、感謝するもの。  
そこに、「他人にあわせてそうした」という下心が感じられるから、違和感があるのかな。

小霜：肉親や夫婦間の関係を公にするのは異常性はあるが、それを楽しむ時代になっているとも言えるか  
もしれない。

沢尻エリカが「別に」でバッシングされたとき、高城剛が「君は疲れてるだけだよ」という彼女宛  
のラブレターを公開した。それを見て、皆絶賛してたんだけど僕は「この二人終わってるな」と思  
った。二人だけの秘め事を自ら公開することに、異常性を感じた。「二人は既に終わってるのに、  
形式をつくることで体裁を保とうとしてるのかな」と思ったら、案の定終わった。肉親や夫婦間  
の関係を公にする異常性は、あるよね。ただ、エリカ-高城を見て感動した、という人が多かった  
ように、「それを楽しもうよ」という時代になっているのも確か。これは極端に考えればわかりや  
すい。俺の母親がガンになって手術したんだけど、それを Facebook で公開して同情してもらおう  
とは思わない。肉親の不幸で、いいね！をもらおうなんて、思いもよらない。じゃあ母の日はどう  
か。「お祝い事は、皆で祝った方が、さらにハッピーだ」という考え方もある。その辺の線引きか  
な。昔に比べれば、家族内の秘め事も秘め事じゃなくなっていて、これぐらいオープンにして、「お



めでとう」って言ってもらおう。

**センター**：もし外国人の友達が「Hey！母の日だからプレゼント送ったぜ！」と書いていても、気持ち悪さは抱かない。日本人の恥の文化が関係してるのかな。

**米村**：割り切れない事を受け入れることも大切。

そういうことって、0か100にならないじゃない。たとえばFacebookで「募金しました」とあげても、「そんなこと言うなよ」とはっきりダメ出しされる。でも母の日は、「お祝い事だから楽しもうよ」と「身内への善行をわざわざ人に言う必要はない」のどっちかに白黒つけられなくなる。募金に構造は似てるけど、募金ほど割り切れない。そこで、割り切れなさを受け入れることも必要。昨日母の日で、奥さんに小さいケーキを買って行ったら「私はお父さんのお母さんじゃない。子どもたちのお母さんだ」と言われた。そういわれると旦那さんは母の日に何かする必要ないよね。「お母さんお疲れさま」そして「これぐらい買ってけば丸く収まるかな」という感覚でやったけど。

**小霜**：自分の価値観と違うからその人はダメだと思っは、広告はできない。

広告やる人の心構えとしては、裁判官になっちゃいけない。どんな人も、なんらかの理由があって、そうしている。母の日をFacebookに投稿するのは、そうしたいだけの理由がある。それが自分の価値観と違うときに、「そういう人はダメだ」と思っはいけない。「俺はそういうことする気になれない。でも人はなんですか？」と考えることが大事。僕らはいろんな人をターゲットにして広告を考える。パチンコだってタバコだって、お酒だってやる。酒飲んでくだ巻いてるやつを「みっともないな」と思っただけでは、お酒の広告はできないよね。そんなサラリーマンの気持ちかわかって、初めてできる。

**米村**：理解できないものを否定せずに、興味を抱く、ってことは大事だね。

**ネチ・ネチ郎**：それは理解できなくても、興味を抱くだけでもいいんですか？

**米村**：理解しようとするところから広告的思考作業が始まる。

そこをわかろうとするところから、広告的思考の作業が始まる。新幹線でカーテン閉める人は理解できないけど、「どういう文脈でそう思ってるんだろう」と想定した上で、そういう人たちにどういうメッセージを構築すれば、強い表現になるのか考えていかないと。広告のターゲットは自分じゃない。俺は50歳過ぎのおっさんで、タレントが10代の若者だった時「わかんないからできません」ではダメ。「10代の若者ならどう考えるだろう」と理解しようとするところから、すべてが

始まる。そういう姿勢が大事。

小霜：広告の基本は、ターゲットが思っていることを言うこと。

ターゲットが思っていないことを言うと、押し付けになって、人が動かない。昔、独軍が仏の占領をして、英が孤立したとき。「我らは断じて降伏しない」とチャーチルが演説をして、圧倒的に支持された。それは自分の考えではなく、英国民がそう思っていたことを言っただけ。思っていないことを言っただけ、名演説にはならない。広告も同じで、ターゲットが思っていることを言ってあげる。ターゲットがどういう価値観を持っているのか、理解しないと始まらない。

米村：老人用の紙おむつの広告を考える時に、老人がおむつを履かされている感覚を知るために、若者でも紙おむつを履いて生活してみる。排尿の不快感やおむつに吸われてるところを実感することで、屈辱感を味わうところから、ターゲットが思っていることを知る。完全にその人の感覚になり代われはしないけど、なるべくそこに肉薄しようという姿勢は大事。今、化粧品の仕事を初めてやっているんだけど、担当の営業の男の子が、夜な夜な化粧してるらしい。

(以上)